

台風時の文化財の仕事について

皆さんは、文化財と言えば何を思い浮かべるでしょうか？文化財と言ってもその種類は多岐にわたります。文化財保護法の中では、文化財を「有形文化財」、「無形文化財」、「民俗文化財」、「記念物」、「文化的景観」および「伝統的建造物群」とされており、その他には土地に埋蔵されている埋蔵文化財などがあります。文化財は、我が国の長い歴史の中で生まれ、はぐくまれ、今日まで守り伝えられてきた貴重な国民的財産です。

恩納村でも多くの文化財が所在しています。その貴重な国民的財産を守るため日々業務を行っています。

今回は、台風6号により恩納村の文化財にも被害が確認されましたので台風時の文化財の仕事という形で報告させていただきます。

被害について

台風前に村内各集落に所在する文化財を確認し、危険木の除去など台風対策を行いました。が、予想より大きな被害がありました。

真栄田地区ではフェーレー岩と寺川砦から歴史の道で被害がありました。道沿いには通行が困難なほどの倒木を多数確認しました。山田地区でも護佐丸父祖の墓やその周辺の歴史の道、山田谷川(ヤーガー)の石砦で倒木などを確認しました。仲泊地区では、仲泊遺跡周辺でも倒木などで通行が困難になっていました。報告した文化財の他にも多くの被害がありました。

復旧について

台風通過後に被害確認を行い、速やかに各文化財の復旧や周辺の倒木などの撤去も行いました。

今後も皆さんの大事な文化財を守るため業務を行ってまいります。



歴史の道倒木



フェーレー岩倒木



復旧作業